



Lost Reason

Lightning Returns Final Fantasy 13
Adult Onlu Dojin Comicbook

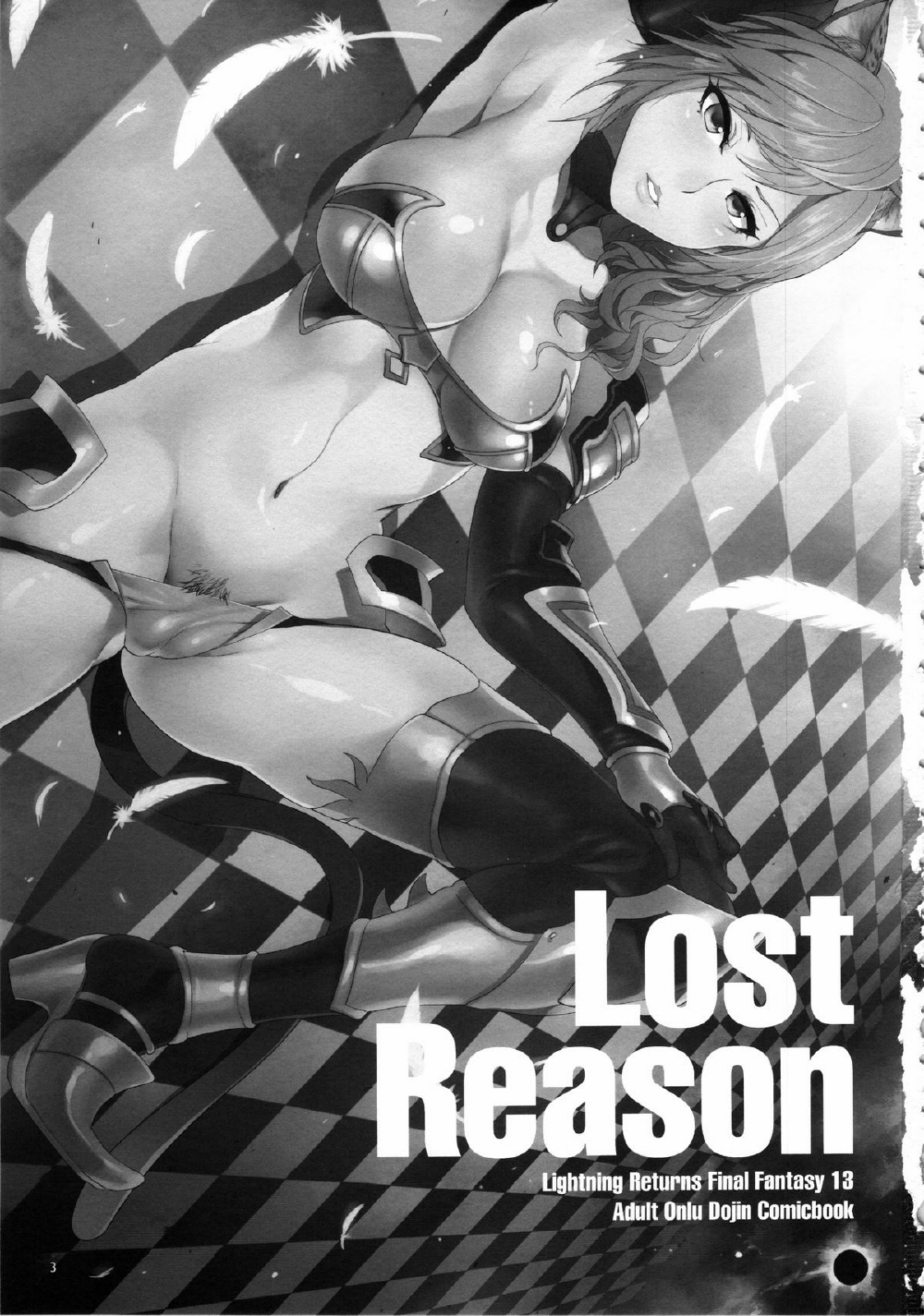


Alice

あリスの生可
Alice no Takarabako presents No.0056
in ComicMarket85 2013WINTER

Lost Reason

Lightning Returns Final Fantasy 13
Adult Only Dojin Comichook



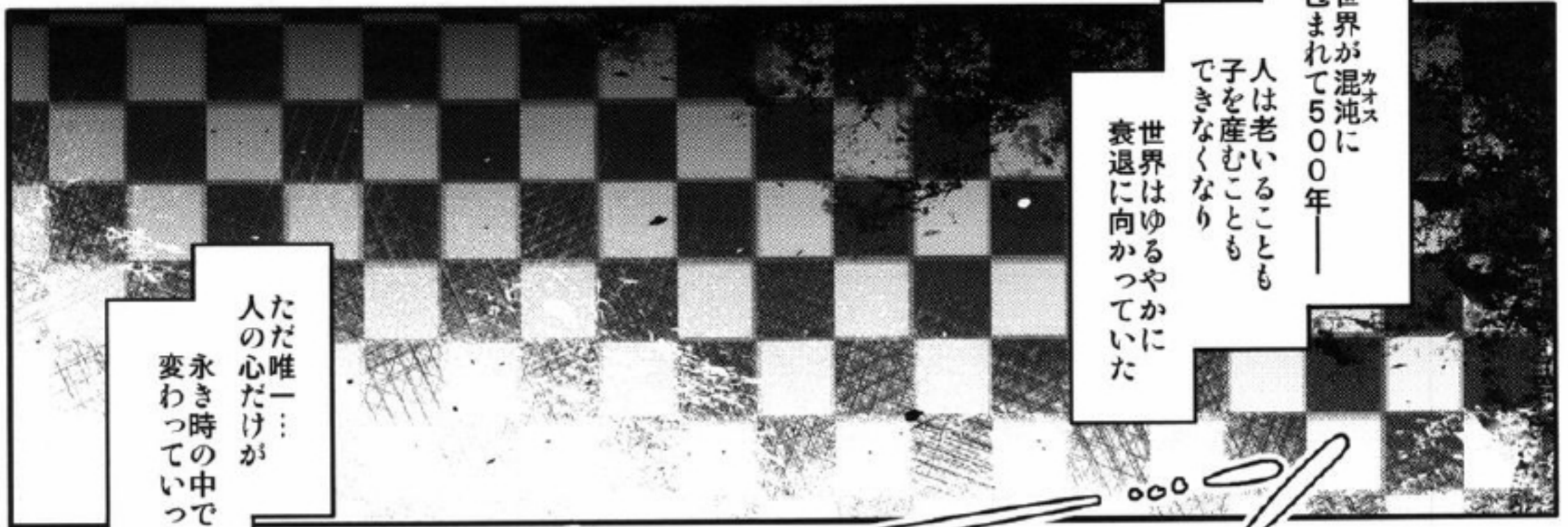
Lost Reason

Lightning Returns Final Fantasy 13
Adult Onlu Dojin Comicbook



9-12-10

3



世界が混沌に包まれて500年—

人は老いることも子を産むこともできなくなり

世界はゆるやかに衰退に向かっていった

ただ唯一…人の心だけが

永き時の中で変わっていった—



ライトさん

世界の終末までの時間は限られています

無用な寄り道は厳禁ですよ



わかっている

それにしても…
その衣装は少し
目のやり場に困りますね

何を言ってるんだ
ホープ

このウェアはお前が
用意したものだろう

それは…
そうなんですが



ルミナ…

スタ
スタ

WEAR
アマゾネス

DECORATION
肉食ねこみみ
小悪魔のしっぽ



また来て
くれたんだね

お姉ちゃん♡

ライトさん！
ライトさん！
一体何が
あったんですか！

突然巨大な混沌が
モリタに
カオス
で



ほら
もうこれで邪魔者には
お姉ちゃんのことが見えないよ

さあ…
教えて？

お姉ちゃんが
本当にしたこと
私に見せて…？



お姉ちゃんは
"にやんにやん"大好きな
"にやんにやんさん"だもんね
ほらほら
言っごらん？

私…
私は…



ちよんちよこ
りりん♪
悦・楽・の・エ・リ・ア・へ
ようこそ！

合言葉は
わかるかな？
解放者サマ♡



た…

…食べちゃう



じゃん…♡







あーあ
お姉ちゃんったら
すっかり
ハマっっちゃって

これで
5日連続だよ?
解放者サマの
お仕事は?

は…

なんとも
言ってくれ…

はっ
は…

んっ♡

たてあ。

んふっ♡
じゅるるるっ

おふっ♡



ここは500年の間に
人としての理性を失い
欲望のままに交尾する
ことしか考えられなく
なった人達の集まる街

子供が出来る
心配もないから
みんな
生ハメ中出し
当たり前

朝から晩まで
毎日セックス
セックス...



あは☆
まるで
動物みたいで

浅ましくて
気持ち
イイ
ね？



ん...そう...
私もすでに
人ならざる身
だから

惨めに快楽に耽り
下品に腰を振って
男に甘えて...

本能のままに
無為な時を
過ごすのも
何もかも
私の自由...

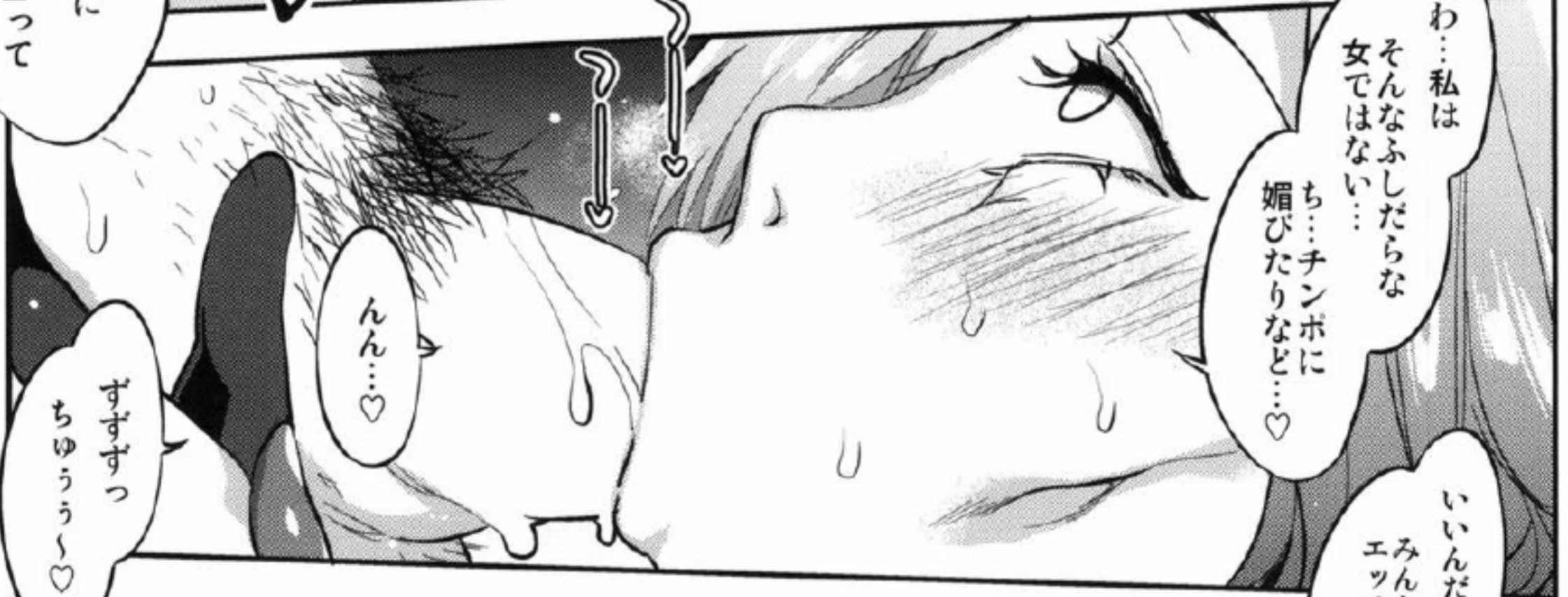


そうね
お姉ちゃん
これがお姉ちゃんの
本当に求めていたこと

そーんな格好で
男を誘って
歩き回ってるんだもの

誰にだって
わかることよ

「ああ
この女はチンポに
媚びることしか
頭にないだな」って



わ…私は
そんなふしだらな
女ではない…

ち…チンポに
媚びたりなど…♡

んん…♡

すすすつ
ちゅうう〜♡

いいんだよ
みんなで沢山
エッチしちやお☆



欲望のまま
快楽のまま

あーあー♡

世界が減ぶ
その時まで
何度でも
何度でも



ん…したい…♡

これっ…はやく
入れたい…
んああ…♡

あんつつつ！
私の中…
貫かれてる…
気持ち…イイ…♡



ん…♡

ん…♡

ん…♡
ん…♡



あゝ♡

あっ♡
はっ



解放者の
使命などっ

……
どうせならっ

どうせいくらでも
やり直せるっ！

だからっ
今はコレえっ♡

ずっと
ずっとコレ
してたいっ！

「ム」じゃ
わかんないよ
お姉ちゃん

せっ…
セックスっ！
セックスっ！
セックス
したいっ！

はああ…♡
セックスう…！

10!
10!
10!



んんんっ!

んはあぁ♡
中出しっ
なかだし
気持ちい♡



あなたがここに
いる限り
私が貴女の
求めるものを
与えてあげる
私は
貴女のしたいことなら
何でもわかるんだから

…そうだよ
お姉ちゃん
ここでなら
何をしても自由
いつまでも
好きなこととして
好きなように生きて



次っ♡
はやくっ
次のチンポっ

その女に
中出ししたら
次は私に
チンポ入れてえ♡

The End

FF13シリーズとの付き合いが、長いものでもう4年になりました。
その間に「ファブラ・ノヴァ・クリスタリス神話」を軸とした作品を標榜する、他の13シリーズである「Agito」が「零式」になり、「Versus」が「15」になり…
それぞれ当初の予定からプラットフォームまで変わって、発売されたりされなかったりしましたが、
メインの13シリーズは、今回微妙にスピノフのようにも感じられるタイトルで、発売前のユーザーの不安感を払拭するように無事完結。
前作のラストで「ToBeContinued」として不興を買ってまで、完結を先延ばしにして満を持して発売した今作「ライトニングリターンズ」ですが、
まず結論から申し上げますと、実に良いゲームでした。
一体初代13から何があればここまでこの進化を遂げることができると、驚嘆を禁じえません。

かつてのように、RPGとして根本的な要素が不足していることもありません。
キャラクターの内面は掘り下げられ、欠点と長所を持ち、人々の共感を得られるだけの血肉が通いました。
まるでユーザーに理解させようとする気もなく内容も矛盾だらけなストーリーラインは大幅に修正されました。
自由度を優先したゲームデザインに、現在のところ世間では賛否両論こそあるものの、
探索し、会話し、鍛え、戦い、発見し、遊び込む、基本的なRPGの遊びの醍醐味は、実に高度なレベルで随所に散りばめられています。

13の大不評を受けて、ユーザーの意見を多く取り入れながら前作「13-2」と今作「LRFF13」は開発されたと言います。
かつて自分が指摘したような、ゲームとして根本にあった問題点を一つ一つ着実に改善し、13-2の成果を経て、ついに今回その努力は結実したのでしょう。
何より13を失敗作として投げ捨てたりせずに、ファイナルファンタジーの名に相応しい作品に昇華させるまで
会社の名誉を背負って立つ重責に負けず、頑なに開発を続け、品質向上に拘り抜いたその職人魂が素晴らしいと思います。

今回も発売後三日目にてクリア。プレイ時間約50時間程度。強くてニューゲームは使わずになんとかEDまで見る事ができました。
難易度の高すぎた(というよりは、プレイ時間水増しのために敵が不必要に固くHPが多すぎた)前々作、
難易度の簡単すぎた(プレイ時間が短時間化し、そのぶんゲームテンポは改善された)前作に比べると
今作はなんとも絶妙なバランスに調整されており、詰まらなかつても必ず救済措置がどこかに用意されている丁寧な作り、
開発期間を鑑みても前作までの流れに比べて開発側のプレイ体験の豊かさを感じました。

そんなわけで以下毎度おなじみ(?)ゲームレビューです。今回なるべくネタバレはしないようにしました。

●ゲームシステム

全体を通して日数制限があり、滅亡を目前に控えた世界を冒険するスタイルは同社の作品の中ではどこか「ルドラの秘宝」を彷彿とさせる。
より近いイメージのゲームの名を挙げれば、64セルダの「ムジュラの仮面」や、PS2ロンチの「ライゼリット」に近いシステムと言える。
常に時間制限が付きまとい、特定の時間でなければこなせないクエストも多く、一見すると慌しいゲームにも感じるが、
多少詰まっても何らかの救済措置が用意されていることが多く、最終的に時間も余るよう作られているので、実は思っているよりも焦る必要はない。
周回を前提としてはいるが、必ずしも何回もしなければクリアできないゲームではなく、むしろ初プレイ時は一周でできるだけのことをやる気持ちで
最後まで通して遊び尽くしたほうが楽しい。実際一周で殆どのことがこなせるようになっていくのが醍醐味だと感じるようになるだろう。

メインストーリーはやや短く、そのために本筋とは無関係なサブクエストを沢山こなしてステータスを上げたり金を貯めたりする作業が必要になる。
クエストは基本的に失せ物探し中心のいわゆる「おつかいゲー」。ただ時折その難易度は異様に高く、延々フィールドを歩き回られることもしばしば。
だがマップを歩く操作感が楽しいため、そこまで苦痛ではない。

マップ上の移動は「ゼノギアス」を彷彿とさせる自由な移動感覚で楽しい。遠くに見える、行けるかもしれないと思った所には大体行けたりするので爽快。
だが個人的には、もう少しミニゲーム等あってもよかつたかもしれないと思う。周回プレイを前提としているわりには隠し要素が戦闘メインのものばかりで少ない。
ただ、その分一周プレイするだけでも十分に満足できる充実度。

●ストーリー

メインストーリーはやや難解で、これまでのシリーズを遊んで来た人向け。
特に後半は13特有の「ファブラ・ノヴァ・クリスタリス神話」が絡んでくるため、感情移入は容易ではない。

だが、このゲームにおける最大の見所はモブキャラ。
通常のRPGのモブといえば、大抵みんな顔が同じ名前がなく無個性なキャラで、そのためにこうしたタイプのおつかいゲーをさらに苦痛に感じさせるものだが、
このゲームにおいては、モブにみな名前があり、声があり、性格があり、物語を持って存在している。
声優さんへのディレクションが上手なのか、一見何てもないキャラですら時折メインキャラを食ってしまうほどの圧倒的な個性を見せる。
全てのキャラが、ちゃんと喋る時に口の動きやしぐさがセリフと一致している所も高評価。

とにかくメインストーリーとサブクエストの完成度が段違い。
サブクエストに絡んでくるキャラクターの作りこみはゲーム史上屈指と言ってもよく
モブキャラのバックグラウンドに一人一人の人生すら感じるほどの説得力を持っている。

主人公であるライトニングの一挙一動も前作までと比べて若干コミカル。
露出の高い衣装を着せたり、恥ずかしいセリフを言わせてみたり、舞台演劇をさせたり、容赦なくモーグリを放り投げたり。
終始無表情で冷静なライトニングさんをどうにかしてイジって遊ぼうという工夫が随所に見られる。
衣装変えや衣装の色変えも自由度が高く、ステータスに無関係なアクセサリを装備することも可能。
願わくば複数のアクセサリを装備できるようにしてほしい。

●戦闘システム

難易度ノーマルでも、一部弱点の少ない敵が若干強めに設定されているが、
敵が固すぎたFF13、柔らか過ぎたFF13-2に比べて全体としてはこれまでに比較的バランスのとれた調整。
特にシステムを理解し駆使すればするほど、勝てなさそうに見えた敵でも工夫次第で勝てるようになるという
戦略性の高さは高評価。アクションと戦略の上手く融合した、ATBバトルの正統進化と言えるだろう。

前作までの「オプティマ」「ブレイク」などのシステムの概念はそのまま「ウェア」「ノックアウト」に応用できるため、前作までのプレイヤーは馴染みやすい。
ただ、若干アクション性があり反射神経を求められる戦闘はその手のゲームが苦手なプレイヤーには厳しい。
レベルの概念がない代わりにクエストの攻略によってステータスが上昇するため強い敵に当たった時の戻り作業が若干苦痛。

そうした面倒な作業をしなくれば開発者の薦める通りEASYでプレイしよう。
難易度は周回プレイのたびに選択でき、クリア後は新たに「HARD」も選択できるようになる。

●グラフィックと音楽

多くは前作までの素材の流用だが、逆に前作までのファンには嬉しいシーンも多い。
序盤は新規に起こされたモデルや音楽素材だが、ここぞという時に前作キャラや音楽が登場する。
これまでの素材を無駄にすることなく詰め込んだ13シリーズの集大成ともいえる。
ムービーは前作までと比べると少なくグラフィックの完成度もやや見劣りするが
かえって冗長に感じさせずプレイヤーを飽きさせない。個人的には前作ほど魅力的な音楽が少なく残念。

●総評

とにかく丁寧な作りこみのゲームで、昨今のコンシューマでは珍しいほどの出来。
終始遊んでいて楽しい要素が多く、前作までの汚名を払拭せんとするスタッフの意気込みを感じる。
過去の「ファイナルファンタジー」シリーズの様々な要素を意識したパーツがあちこちに散りばめられており
(ユズナンの音楽隊・デスゲーム主催の兄弟・魔法屋・OPムービーの演出・
クールヒロインによる舞台劇・コロシウム・モーグリ達の名前・ラスボスの技名など…)
他にもこれまでのスクウェアRPGの様々な要素を盛り込んだいいとこ取りのような本作だが
きちんと前作までの13シリーズの要素を引き継ぎ消化しきっているのが凄い。

初代FF13の開発がはじまってから、ここまでの完成度に仕上げるために実に10年近い歳月を要し、
その間長い間同社の作品が不作続いたことの影響をこの一作の成果のみで逃れられるものではないだろうが、
前作FF13-2発売から今作までのこの短い期間に、これだけの完成度のゲームを
仕上げる事ができたことは、今後のFFシリーズとスクエニの展望に期待を抱かせるに十分であったように思う。
惜しむらくはタイトルが「ライトニングリターンズ」とスピノフ作品のような名前だったこと。
「13-2」で「ToBeContinued」をやっているのだから、きちんと完結作であることをアピールしても良かったのではないか。
前作までを遊んできて、この作品を遊ばないのは勿体無いとしか言いようがない。
この文章を書いている現在、販売本数はまだ初代の1/7にも満たない。初代を遊んだ人もそうでない人も
遊んでほしいという意図でつけられたタイトルだそうだが、かえって逆効果にも感じる。
まずは初代を買ってちょっとでもプレイした人に、是非今作を遊んでもらって13の再評価をしてほしい。

何よりFFシリーズのファンであった自分が、今作に及んでこんなレビューを書ける作品になったことに喜びを感じている。
初代の後書きを書いていた時の気持ちを思い返すと、これは本当によかつたと思う。
これは所詮1ファンであり、1プレイヤーの意見に過ぎない。真面目に読んで貰わなくて全然いいと思う。
ただ、自分の同人誌に関しても前作、前々作と買ってくれた方がいたら、そしてここまでの文章から何かを感じ取ってくれたなら
とりあえず、ゲームの方も手にとってもらえればいいな…。

いや、好みじゃないって人もいるかもしれないけど、絶対に買う前に想像してるよりは面白いよ！

Afterword...

はじめましての方もそうでない方も、こんにちは。水龍敬です。

コミックマーケット85の新刊、FF13本のシリーズ3作目となるLRFF13本「Lost Reason」です。
毎度のことですが前のページになんだかんだ書いておきました。
今回のゲームへの思いはだいたいそこに書き連ねたので読んで読まなくてもいいです。

今回まだ原稿作業の時間に余裕がある新刊一冊目ということで、
ページ数が少ないながら、わりと丁寧に仕上げてみました。
本編の作中に市松模様がよく出てきたので、漫画にも要所要所に入れました。
多分、混沌のモチーフかなんかなのかと思います。

ライトさんの衣装にアマゾネスを選んだのは
単に現在自分が入手しているウェアの中で一番エロかったからで、特に他意はないです。
後からナイトメアというウェアの存在を知って若干後悔してます。
どんな衣装かは攻略サイトの画像とかを調べて見てみて下さい。

一見別にクリアしてなくても描けそうな内容の漫画になりましたが、
実はクリアしてないと意味がわからない描写をところどころに仕込んであります。
ゲームを最後まで遊んだ方はより一層楽しんでもらえるんじゃないかと思います。

今のところゲームは二周目の途中までで、HARDモードもまだ遊んでいないので
全然やりこんでいるというには程遠いです。早く原稿終わらせて続きが遊びたいです…。
とりあえず二周目は全クエスト攻略を目指して頑張ってます。
クロノスタシスを駆使しながら遊ぶと二周目は殆ど時間経過を気にせず遊べていいですね。
初日でメインクエ全攻略も可能なのかもしれない。

今回のコミケはまたしても新刊が多いです。その予定です。
現在のところまだこの本しかあがっていないので、何ともです。
調子がよければ新刊が4冊くらいあるかと思います。
他の本も是非手にとってやって下さい。買ったよ、って方はどうも有難う御座います。
どの本も手は抜いてないと思うので、是非堪能してやって下さい。

FF13シリーズが完結ということで、今回でライトニングさんを描くのも終わりかと思います。
実は仕上げていないFF13の漫画が一本あるのですが(pixivに下書きあげてあります)
13-2のシナリオをベースに描いたものだったので、多分アレの続きを描くこともないのかもしれない…。

もしご意見・ご感想など頂ける場合は、メールやweb拍手等々
どのような形でも構いませんので、何卒宜しくお願い致します。

それでは、また別の本でお会いしましょう。

発行日:初版2013年12月31日

発行者:水龍敬

発行サークル:ありすの宝箱

印刷所:緑陽社様

Special Thanks:理人 FC2リスナーの皆様

<http://www.mizuryu.jp/>



Alice

あ り す の 宝 箱

Alice no Takarabako presents No.0056
in ComicMarket85 2013WINTER